

NO.62 心のオアシス巡礼 癒しと祈りで人生を昇華する

表紙デザイン



サイズ A4版(ブックレット)
ページ数 52p
発行年月日 2024.3.7
定価(税込み) 1,200 円

～ Message ～

人は生きること、過去が積み重なり、それらを背負い、歩みを進めていきます。過去は基盤となり、自らを支えるものであるものの、ときに、自らを縛り、重荷となることがあります。宿命として受け入れざるを得ないことや、過酷な運命に翻弄されることはあります。しかし、それにより人生をあきらめ、苦悩にさいなまれる道は、だれも望むものではありません。生きづらい現実にも悩まされずとも、迷い道も回り道も、すべては貴重な機会にすることができます。心のままに、生きることが大切です。心とともに歩む道のりは、味わい深いものになるはずで

著者 阿知和 理子
発行者 一般社団法人
ユニバーサル・インテリジェンス

心のオアシス巡礼

癒しと祈りで人生を昇華する

Contents

はじめに	※ 3 記憶を愛でる
※ ヒプノ式:癒しの泉をまいる	※ 4 縁を想う
Chapter1 過去を遠望する	Chapter5 過去を癒し現在が動く
※ 1 過去の位置づけ	※ 1 現在をみすえて
※ 2 過去の束縛	※ 2 清々しく生きる力
※ 3 過去生とか因果とか	※ 3 過去を認め肥やしになる
※ 4 過去の解釈	※ 4 エネルギーッシュに今を生きる
※ 5 過去をたたむ意識	Chapter6 うるわしい現在が未来を拓く
Chapter2 小さな自分をやしなう	※ 1 希望にあふれ夢を描く
※ 1 自分のなかにある純心	※ 2 将来のヴィジョン
※ 2 小さな自分に気づく	※ 3 人生の航海
※ 3 心を抱きしめる	Chapter7 心のオアシスをまいる
※ 4 小さな自分とともに歩む	※ 1 心にたゆたう思い
Chapter3 記憶あしらい	※ 2 すべてを包容する自分がある
※ 1 記憶を消すことも消せなくとも	※ 3 甘い水も苦い水も
※ 2 思い込みを片づける	※ 4 オアシスの聖所にて
※ 3 割り切る美德	Chapter8 癒しと祈りで人生をことほぐ
※ 4 自分の過去を修める	※ 1 自分を癒して感謝する
Chapter4 心のオアシスに憩う	※ 2 心からの祈り
※ 1 記憶のきずな	※ 3 うつくしき人生の主宰者
※ 2 好ましい思い出	おわりに